

平成30年度 学際研究支援プログラムの公募

学際科学フロンティア研究所長
佐藤正明

当研究所は学問分野を横断する基礎的な融合研究課題を意識的、組織的に取り上げて育成発展させるべく平成7年度に発足（14年度に改組）した学際科学国際高等研究センターを母体とし、平成25年度に改組・設置された全国的にもユニークな研究組織です。青葉山地区にある実験棟には物理、化学、生物の各種実験室を置き、基本的な実験設備及び装置を備えており、(1)物質材料・エネルギー、(2)生命・環境、(3)情報・システム、(4)デバイス・テクノロジー、(5)人間・社会、(6)先端基礎科学の6領域について多岐にわたる学際的な領域研究を展開しています。

本所では、これら重点6領域において学際融合研究を目指し、複数の部局・機関の研究者が提案する課題を3年の期間で実施する「学際研究支援プログラム」を学内公募いたします。本研究では上記の施設を用いて研究を遂行していただく他、客員教員や講演会の開催、若手研究者の海外派遣などについての援助も受けることができます。本支援研究の代表者および研究者は必要に応じて一定期間本所に常駐し、発想の転換、異分野手法の導入、研究者間の交流を図ることによって新規的、先駆的、学際的研究を展開していただきます。従いまして、本研究は単なる本所共通施設を利用する研究ではなく、本所において専任教員や他の研究者と分野を超えた活発な交流、討論、相互協力を行う中で課題研究を推進する点に主眼があります。応募された提案は所内審査を経て本所運営会議で採択いたします。なお、必要に応じて申請課題内容のヒアリングを実施することがあります。

○ 応募に関する留意点

● 主担当研究者の専念体制について

学際研究支援プログラムの趣旨は、本学の教員が必要に応じて一定期間本所に常駐し、研究に専念する機会を得ることにあります。そのために各部局または所属する研究室での十分な調整を行って下さい。本所の紹介がホームページ (<http://www.fris.tohoku.ac.jp/j/>) にあります。必要に応じて資料の参照、本所の見学或いは他の公募研究の研究者等との討論を行った上で、本所を活動の中心に据えた具体的計画をご提案下さい。

○ 応募要項

1. 研究領域と採択課題

上記6つの領域に属する学際的な研究を申請して下さい。**3件程度**の研究課題の採択を予定しています。先見性、独創性、学際性、本所の必要性を重視して下さい。特に学際性は本審査においてもっとも重要な観点になりますのでご留意下さい。

2. 研究の組織と形態

研究の組織は、本学教員、協同研究者及び客員教員（研究員）で構成して下さい。客員教員については申し入れにより本所で採用して各支援プログラムに配属致しますが、ご希望に添えない場合もあります。

(1) 本学教員

本課題の代表者（中核的に研究を進める研究者）は本学教員（教授、准教授、講師、助教（特任教員は不可））として下さい。**ただし学際科学フロンティア研究所の教員は代表者として応募できません。**代表者は、原則として本所を拠点に研究を実施していただきます。

(2) 協同研究者

学外・学内研究者で、所属機関・部局に在籍したまま支援研究プログラムに参加することができます。

(3) 客員教員（研究員）

客員教員として民間、公立大学法人、私立大学、国立大学法人、独立行政法人研究機関、外国研究機関の研究者を委嘱できます（最大1年、ただし任用および運用は東北大学および本所の規定に従う）。採択後にご提案していただき、本所運営会議で選考いたします。

3. 研究プログラムの期間、経費および成果報告

原則として3年とし、各年度に事業費が配分されます。また、申請により居室・実験室が使用できます（使用面積については本所の利用状況や研究の内容を勘案して決定されますので、ご希望に添えない場合もあります。なお、所定の面積（22m²）を超える分については本所の規定に従って課金されます。）。

本所では各年度に成果報告会での発表（研究概要提出を含む）を行っていただき、**年度ごとに各課題の進捗状況を評価いたします。**さらに**終了時には成果報告書の作成**をお願いしています。

また、事業費とは別に本所が実施する若手研究者国際共同研究支援等のプログラムにも

応募することができます。

4. 応募方法と審査方法

(1) 応募方法

所定の用紙を用いて正本1部写し1部を作成し、平成30年4月6日(金)までに学際科学フロンティア研究所事務室必着(学内便 青A 5-3)で送付下さい。期限を過ぎたものは受理いたしません。なお、ホームページ(<http://www.fris.tohoku.ac.jp/j/>)からも所定の申請用紙をダウンロードできます。応募書類は、封筒に「学際研究支援プログラム申請書在中」と朱書きして下さい。また、応募書類は採否に関わらず返却いたしません。

(2) 審査方法

原則として書類審査としますが、必要に応じてヒアリングを実施いたします。採択決定は平成30年5月下旬頃を予定しています。

5. その他

(1) 成果の公表にあたっては、必ず「学際科学フロンティア研究所 学際研究支援プログラム」によるものであることを記して下さい。

(2) 本公募に際し不明な点は、学際科学フロンティア研究所(022-795-5752 企画部 才田教授 (jsaida@fris.tohoku.ac.jp) または 022-795-4353 鈴木特任准教授 (URA)(suzukik@fris.tohoku.ac.jp))まで御照会下さい。

(3) 安全衛生管理、経費執行、ネットワーク管理など本学および本所にて実施運用しているすべての規則・指導に準拠して研究を実施していただきます。なお、これらを逸脱していると判断される場合には研究支援を中止させていただきます。

(4) その他、具体的な研究遂行上の注意ならびにお願いについては採択後にお知らせいたします。

申請書記入の注意点

学際研究支援プログラム申請書の提出にあたっては、以下の点に留意してください。なお、各項目については、適宜記載欄を調整していただいても結構です。

- 「**研究課題名**」：研究内容を簡潔に表現できる課題名をつけてください。
- 「**代表者**」：本所を拠点に研究を推進できる東北大学教員（教授、准教授、講師、助教のいずれかで特任教員は不可）を代表者に選んで記入してください。**ただし本所の専任教員や兼務教員は代表者にはなれません。**
- 「**申請領域**」：6つの研究領域の内、1つを選んでください。
- 「**研究概要**」：研究全体の概要について、専門外の研究者にも理解できるように世界的な研究状況とともに、どのような**学際的視点**と研究組織で展開するかも含めてわかりやすく説明してください。
- 「**研究組織**」：どのような組織を構成して研究プログラムを実施するのかを明確に示してください。この際、本所を拠点にして中核的に研究を進める教員（代表者）は、「専念体制」の項目に主担当教員と記載してください。それ以外の構成メンバーについても、それぞれ兼務教員、客員教員、協同研究者などと区別して記載してください。また「分担研究課題」の項目には研究課題の中で各研究者が分担する具体的な課題を提示してください。
- 「**プログラム事業経費内訳**」：各年度 **500万円以内**の研究経費（総額）と、その内訳として消耗品費等、旅費、謝金の金額を記入してください。この際、旅費および謝金の合計は**全体の20%以内**となるようにしてください。ただし、20%を超える場合であっても、被験者等への謝金、フィールドワーク旅費など、研究遂行上必要な場合には申請書備考欄にその理由を記載していただきますようお願いいたします。また審査の結果、事業費についてはそれぞれの実施年度において減額されることもあります。
- 「**研究の目的と意義**」：申請課題における研究目的を、①研究を着想するに至った背景、②本研究の遂行がどのような新しい**学際研究領域の創成や学問上の新展開**をもたらすと考えられるのか、またその意義、③本学における関連研究の現状との相違点、④本研究組織でどのような研究協力体制が実現できるのか、などの観点を含めて記述してください
- 「**本研究所の必要性および本研究所機能の活用方法**」：本研究所において研究課題を遂行する必要性および本研究所の機能をどのように活用しようとするのかを記入してください。
- 「**これまでの研究経緯と準備状況**」：本研究課題に関連する研究代表者のこれまでの研究経緯、各分担者の貢献と協力関係、本研究組織を構築するに至った経緯を記入してください。
- 「**研究の専念体制・部局または研究室の支援体制**」：支援プログラムにおいてどのような専念体制で研究にのぞむのかについて記載してください。特に、専念教員が一定

期間本所で集中的に研究を遂行することに対する所属部局や所属研究室の考え方や支援体制などを事前調整状況を含めて具体的に説明してください。

- 「**研究計画・方法**」：研究目的を達成するための研究計画・方法について年度別に述べてください。本所の既設装置の利用、占有面積（持ちこみ装置を含めて研究全体でどの位の実験面積を必要としているか）等を具体的に記載してください。
- 「**本申請に関してこれまで発表された成果**」：これまでに本研究に関連して得られた研究成果の内、公表された論文、解説記事、新聞発表等について記載してください。なお、書ききれない場合には、別紙にまとめていただいて結構です。
- 「**本申請に関連する競争的外部資金の獲得状況**」：本研究に関連して獲得している競争的外部資金（申請中のものを含む）について記載してください。